

## 変更契約の調書

工 事 名	花見町古堤水辺空間整備工事
当初	
施 工 場 所	南陽市 二色根 地内
請 負 業 社 名	株式会社松田組
工 事 種 別	土木一式
工 事 概 要	花見町古堤水辺空間整備工事 施工延長L=172.6m ・土工 N=1式 ・擁壁工 大型ブロック積 A=492m <sup>2</sup> ・排水工 N=1式 ホックスカルハート □400 L=15m、□600 L=3m ヒューム管 φ150 L=4m φ250 L=4m φ300 L=8m 集水桝 N=2基
契 約 金 額	68,750,000 円 (消費税及び地方消費税を含む。)
工 期	着工 令和7年8月6日 完成 令和8年3月26日
第1回変更	
変 更 年 月 日	令和8年1月28日
変 更 金 額 ( 変 更 後 )	69,091,000 円 (消費税及び地方消費税を含む。)
工 期 ( 履 行 期 間 )	完成 令和8年3月26日
変 更 理 由	1.埋戻工について 当初、埋戻工については、現場内で発生した残土を埋戻材として流用し、施工する計画であったが、土質試験の結果、泥土bと判定され、盛土材に要求される性能を有していないことから、新たに盛土材を搬入し埋戻すこととしたい。 当 初 変 更 土砂又はずり(最大粒径300mm) V=660m <sup>3</sup> → V=1,370m <sup>3</sup> (V=710m <sup>3</sup> 増) 土砂等運搬 V=780m <sup>3</sup> → V=1,470m <sup>3</sup> (V=690m <sup>3</sup> 増) 2.土質改良剤について 現場再調査の結果、堤底版に堆積した泥土が想定よりも含水比が高く、ダンプへの積込みが不可能なことから、土質改良剤を使用し、適切に処理したい。 当 初 変 更 土質改良剤(1m <sup>3</sup> 当たり2kg) W=-kg → W=1,560kg (W=1,560kg増) 3.大型ブロック積工について 上記増工に対応する必要があることから、事業費調整を図るため大型ブロック積工を減工し対応したい。 当 初 変 更 大型ブロック積工 A=492m <sup>2</sup> → A=318m <sup>2</sup> (A=174m <sup>2</sup> 減) 4.その他、現地に適合するよう軽微な変更を実施したい。